

一般社団法人 日本音楽療法学会ニュース

発行 一般社団法人日本音楽療法学会

理事長 藤本 禮子 副理事長 土野 研治 副理事長 二俣 泉

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



理論の森と、自分の声

日本音楽療法学会代議員

生野 里花

その昔アメリカの大学の授業で、音楽療法には「精神力動」「人間主義」「行動主義」「医学」などの異なる理論が結びつき得るということをおぼろげに知った。でもその頃、1990年代初頭は、まだ先生も「そういうのもあるって主張する人もいるのよね」みたいな言い方で、その一瞬だけ、教室が秘密結社の集会場のような空気を帯びた。

2020年代の今、「音楽療法」という山には、異なる「臨床理論モデルの森」が切れ目なく生い茂っているということが、通念となった。「臨床理論モデルの森」とは、音楽・人・健やかさへの見方において、土壌や性質や成長のしかたが似ていたり補い合ったりする木々の、有機的な植生である。冒頭に書いた諸理論の森に加え、2000年頃からは、「生態学」という新しい森も育ち始めた。どの森にも、茂る理由と意味がある。

しかし、この山の全容を把握した人はまだいない。「音楽・人・健やかさ」は、それほど深い山だからだ。世界中の音楽療法士たちがきょうも、自分の立っている地面を出発点に、自分が住む森の樹木を手入れし、調べ、育て、登っている。よその森の仲間と声をかけ合い、種子を飛ばし合ったり、移住していったりもする。

ネットワークや翻訳ソフトの力は、さらなる交流もひらいた。自分の目の高さから見えている風景を、連なる森森を越えて、山の反対側と即座に送り合うことができる。あちこちから人々が登っている山の遠景や、山の周りに広がる時代環境の変化を、ドローンの空撮のように俯瞰することができる。そのマクロの風景の中に、小さく瞬いている「私」のマイクロな点を見つけ、自分のしていることの意味を捉え直す経験の不思議さ……。 「秘密結社」時代とは隔世の感がある。

こんな音楽療法という山に、コロナ異変が激震を与えた。制限だらけの現場、予算カット、オンライン・セッションのもどかしさ、揺さぶられる自分の心と体。不条理なことだらけの現状を、いろいろな理論モデルの音楽療法士たちが、それぞれの強みを生かして乗り切ろうとしている様子が伝えられてくる。

私も、揺れ動く樹海に消え入りそうな自分の小さな庭に立ち、自らに言い聞かせる。「今はタネ蒔きのとき。植生が絶え

ないように土を耕したり、本当のタネを、深くあちこちに埋めるときですよ」と。そうやってかかってみると、思わぬ草花・新しい発想に出会うこともある。でも、果てしない野良仕事の大変さにため息が出ることもある。上空を吹き渡る風の音が、「すべて、フヨウフキュウのユメですよ、あなたの勝手な」というささやきに聞こえることもある。深呼吸して足元の地面と遠景の森を眺め直し、また耕し始める。

想像できるだろうか。たとえば迷いだらけのセッションの後の虚脱状態のとき。疲れた体で長い記録を書いているとき。ひとりぼっちの部屋で講習会の窓を覗いているとき。いつかそうしたピースがつながり、自分がこの仕事をしているわけが、全身で、そして新しい視野で「わかる」日が、思い描けるだろうか。

その日をたぐり寄せるのに、グーグルマップみたいな魔法の地図を広げて、世界の理論や実践を「知る」ことは、大きな助けになる。でも同時に、自分の小さな声に耳を傾けることが、もっと大事だと私は思う。あなたの声を聴けるのはあなたしかいない。

あなたをこの山にいざなったのは、なんだったか？あのととき、手のひらにつかんだ夢のひらめきの実はまだ青くて硬く、うまく説明できなかつた。でもポケットにしまって、とにかく歩き出したんじゃないか……。それを今、そっと取り出して見つめ直すのも悪くない。心折れそうな状況にこそ聴くことができる自分の声というものが、あるような気がする。

星の降る暗がりではタネの芽がめばえて
眠りから醒めながら夢をひとつだけ
あなたに叶えてくれる*

そのとき、そびえるように大きいと思っていた「理論の森」が、私の小さい物語の中に映り込み、化学反応を起こして新しいのちを宿し、きのうより3mmだけ先の「私のゆく手」を示してくれるのでは、と思う。

*井上陽水(1999)《五月の別れ》より。Golden Best. FLCF-3761. Sony Music.
(JASRAC及び文化庁の定める「公正な慣行に合致する『引用』」の範囲で掲載しました。)

第21回学術大会を終えて

実行委員長 前田登志枝



第21回日本音楽療法学会学術大会が完全 web 開催で2021年9月25日～10月20日まで開催されました。ご参加いただいた多くの会員のみなさま、学術大会・講習会講師の先生方、研究発表に応募していただいた方々、学会本部事務局と役員の方々、学会サービス様、今大会のためにご尽力いただいたみなさまに改めて心より厚く御礼申し上げます。

参加受講者数は学術大会1726名、講習会1743名、発表演題数116演題（発表内訳は研究発表：96 自主シンポジウム：12 公募ワークショップ：8）でした。

宮本啓子大会長のもと「だれかのためになることで素敵に生きられる！～音楽療法の技法と相互交流を考える～」をテーマに2年半前、信越・北陸支部実行委員会を立ち上げました。昨年の熊本大会が新型コロナウイルス感染拡大のため、初めてのオンライン開催となり実行委員の皆様は大変な状況乗り越えての大会運営だったことと拝察いたします。一年後の新潟大会も、現地開催ができなくなるのではという不安な気持ちはありましたが新潟朱鷺メッセ会場の準備を進めました。しかしコロナ感染拡大がさらに厳しい状況になり、4月に講習会だけをオンデマンド配信に決定しました。急遽講師の先生には録画作成をお願いすることになりました。5月末には本部役員と実行委員会合同のZoom会議を行い、完全 web 開催の決定に至りました。新潟の美味しいお酒とお魚で全国の会員の皆様と交流したかった会員の方々には本当に申し訳ありませんでした。

宮本大会長をはじめ実行委員会では完全 web 開催に決定してからはオンライン開催のメリットに気持ちを入れ替えることにいたしました。実行委員会も毎週月曜日2時間程 Zoom で会議を行いました。委員のそれぞれの自宅での夜の会議でしたので、委員のお子さん、お孫さんの画面登場も度々ある中で、初めての完全 web 開催の準備を進めました。

今大会は、本部企画の一つとして記念すべき第一回日野原賞の発表と記念講演会がありました。今後の音楽療法発展に繋がる研究者であり臨床家の上羽（糟谷）由香先生のご講演でした。

サラ・ジョンソン先生には基調講演と講習会の講師として2講義の録画制作をしていただきました。日本での対面の講演を楽しみにしていましたがオンデマンド配信を通して海を越えての音楽療法の貴重な勉強をさせていただきました。翻訳を担当していただいた阿比留睦美先生、上羽（糟谷）先生にはお二人とも育児の合間に録画作成、音楽の著作権など開会直前まで大変なご尽力をいただきました。ありがとうございます。

佐治晴夫先生には壮大な宇宙・人間・音楽のテーマで、今大会に相応しい素晴らしい基調講演をしていただきました。講演の途中佐治先生が演奏された「バッハの平均律第1巻第1番ハ長調プレリュード」の演奏は深く心に染み入りました。本当にありがとうございます。

秋野公造参議院議員には、日頃学ぶ機会が少ない議員立法の立案プロセスについて解りやすいご講義をいただき国家資格化への様々な課題が見えてきました。感謝申し上げます。

講習会の20コマの講義を担当していただいた講師の先生方にはコロナ禍で孤立している私達に新たな目標・テーマ・そして何よりの元気をいただきました。ご担当いただいた講習会講師の先生お一人おひとりに改めて深く感謝申し上げます。楽しみにしていた新潟の音楽文化の和太鼓の演奏はいつか生演奏を必ず聴きたいと思えます。

宮本大会長企画の音楽療法学会の重鎮女性三人の鼎談も素晴らしい内容でした。これからの音楽療法への提言が凝縮されました。最後に湯川れい子先生からいただいたメッセージです。音楽療法士は「どれほど音楽が好きか・どれほど人間が好きか・どれほど音楽を信じているか・そしてそこに喜びを感じているか」これは私たちの原点ですね。湯川先生、藤本禮子理事長本当にありがとうございました。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

完全 web 開催は著作権、参加証明書など様々な課題を残しましたが来年の広島大会は現地で皆様とお会いできますことをお祈り申し上げ、今大会の報告とさせていただきます。

第22回日本音楽療法学会学術大会に向けて〈一次案内〉

大会長 岩永 誠

2020年、2021年と新型コロナウイルスにより多くの犠牲者が出て、私たちの生活も制約されて多大な影響を受けました。たった一つのウイルスがここまで大きな被害をもたらすとは思いませんでした。音楽療法学会の学術大会も2年連続でオンラインでの開催となり、対面で語り合うことができなくなりました。こういう生活がもう2年近くも続いています。学会員の皆様方の活動や生活も大きく様変わりをしたのではないのでしょうか。まさに、失われた2年です。早くコロナウイルスが収束をして、元通りとまでは行かなくても、学術大会が開催され、対面での情報交換ができるようになることを願うばかりです。

2022年の第22回日本音楽療法学会学術大会は広島で開催いたします。2022年9月16日（金）～18日（日）の開催を予定しています。この頃までには、収束して対面での学術大会の開催ができるものと信じて、現在大会の準備を進めております。中国支部が学術大会を担当するのは3度目です。前回の第13回学術大会は、「音楽療法の役割を再考する ～個のつながりや地域とのつながりを通して～」をテーマとして、音楽を通しての「つながり」の多様性と可能性について考えました。その後も多くの災害が日本を襲い、地域でのつながりや地域とのつながりはさらに重要になったのではないかと思います。そこで第22回学術大会のテーマを「コミュニティでの共生を支える ～音楽療法の役割を考える～」として、コミュニティにおける音楽療法の役割について考えたいと思っております。地域に根ざし、地域のニーズを踏まえた音楽療法を行うために、どのような活動ができるのか、また、どのように地域と協働できるかは、今後さらに重要な課題になるものと考えております。

第22回学術大会では、コミュニティにおける音楽療法を主軸として、特別講演者に地域包括ケアシステム研究の第一人者である田中滋先生をお招きして、地域包括医療についてのお話をさせていただきます。また、コミュニティ音楽療法の権威であるブリュンユルフ・スティーゲ先生によるオンデマンドの基調講演では、コミュニティ音楽療法についてのお話をさせていただく予定です。この基調講演を受けて、大会企画シンポジウム「コミュニティでの音楽療法の役割を考える」において、各地で行われてきたコミュニティにおける音楽療法の事例を取り上げ、日本におけるコミュニティ音楽療法のあり方について考えたいと思っております。このほか、教育講演として、肥後功一先生から子どもの情緒や言葉、関係性の育ちと支援についてお話させていただく予定です。また、講習会はワークショップを対面で、講義をオンデマンド形式で行う予定です。多くの学会員の方々の今後の活動に役立つ内容となるべく、企画してまいりたいと思っております。

大会の行われる会場は、広島市の中心部にある平和記念公園内にある広島国際会議場です。隣の建物が広島平和記念資料館で、近くに原爆ドームがあります。また、会場の近くから宮島行きのシーバスが運行されていますので、瀬戸内海をクルージングしたのちに宮島観光を楽しんでいただけるのではないかと思います。ちょっと足を伸ばせば、尾道や竹原、岩国も楽しむことができますし、うさぎの島として有名な大久野島もありますので、学会が終わった後に行かれると、日常では体験できないうさぎだらけの世界に浸ることもできると思います。

夜は、中国地区随一の歓楽街である流川で楽しんでいただくこともできます。瀬戸内の山海の幸をご堪能いただけるものと思います。残念ながら牡蠣には少し早いかもしれませんが、もちろん、お好み焼きのお店もたくさんありますから、昼食や飲みの締めめに食されてはいかがでしょう。お店によって焼き方や味が異なりますので、いろいろと楽しんでいただけるとと思います。学術大会が開催される頃にはコロナも収束して、夜のひとときも楽しんでいただけるのではないかと願っております。

学会会場は広島市の中心部ですのでアクセスもよく、新幹線で来た場合には広島駅から市電やバスで行くことができますし、飛行機の場合はリムジンバスでバスセンターに行ってください、そこから徒歩で行くことが可能です。コロナ後の旅行として広島に是非おいでいただければと思います。皆様方のたくさんのご参加を、関係者一同心よりお待ちしております。

■ 国家資格推進委員会報告 ■

国家資格推進委員会
委員長 藤本 禮子

学会ニュース41号以降の国家資格推進委員会の活動について、1. 国家資格化に向けた国会議員等との活動 2. 会員の皆様に向けた国家資格化の情報共有のための活動 に分けて、以下に報告いたします。

1. 国家資格化に向けた国会議員等との活動について

前回報告しました、3月31日に行われた2回目の文部科学省との会見では、音楽療法士の国家資格化に向け、同省から前向きな意見を得ることができました。

6月24日、日本認知症予防学会全国大会 特別企画シンポジウム「音楽療法と認知症予防」に招かれ、藤本禮子 理事長が、「高齢者に向けた音楽療法の実際と効果」について、秋野公造議員からは「音楽療法の国家資格の必要性」について話されました。認知症予防学会とは引き続き情報共有などを続けていくことになりました。

9月14日、厚生労働省との会見が行われました。厚生省老健局から2名、社会援護局・保険局・医政局から各1名、計5名、秋野公造議員、佐々木さやか議員、国家資格推進委員会からは、藤本禮子委員長、吉田勝明副委員長、土野研治委員、二俣泉委員、猪之良高明委員、の5名が出席し、話し合われました。厚生労働省とは初めての会見でしたので、国家資格推進委員会からは音楽療法の説明、音楽療法の国家資格化の必要性などについて話し、其の後質疑応答が続きました。当日の会見を受け、厚生労働省から前向きな意見を得ることができました。

続けて10月6日、参議院法制局との話し合いが行われました。秋野公造議員、法制局から2名、国家資格推進委員会から、藤本禮子委員長、二俣泉委員、猪之良高明委員の3名が出席し、法文案の作成に向け話し合われました。今後法制局との話し合いは続くこととなります。

2. 国家資格化の情報共有の活動について

第21回日本音楽療法学会学術大会にて秋野公造議員による「特別講演会 音楽療法の国家資格に向けて ～議員立法 生殖補助医療法案発議者の立場から～」を動画配信いたしました。9月25日から10月20日まで配信されました。

10月3日国家資格化勉強会をオンラインで開催しました。全支部にお知らせし、多くの会員の視聴を願いました。秋野公造議員から国家資格に向けメッセージを頂き、国家資格推進委員会から、藤本禮子委員長が「音楽療法士国家資格化 ～第1次から第2次（今回）までの流れ～」、村林信行委員が「国家資格化と医療制度」、猪之良高明委員が「国家資格化と福祉制度」、西巻靖和委員が「医療的ケア児等の領域における国家資格化の必要性」を話されました。

当日は230名の会員が視聴され、その後オンデマンド配信されました。

国家資格化の活動は、一歩ずつ進めています。これからも国家資格化に向けた国会議員などとのやり取り、その内容・経過についてホームページで逐次報告いたします。ホームページをぜひ頻繁にご覧くださいよう、国家資格に向けた活動に応援・ご協力をお願いいたします。

■ 2021年度に実施予定の資格試験について ■

資格認定委員会
委員長 土野 研治

日本音楽療法学会ニュース第41号（p 8～p 9）に掲載した「2021年度音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）について」、
「2021年度音楽療法士資格審査（面接試験）について」に関して、新型コロナウイルス感染防止策として、一部実施方法を変更の
上、以下の要領で実施いたします。受験を予定されている方はご確認ください。

◆2021年度 音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）について

2022年1月16日（日）に予定している2021年度音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）は、新型コロナウイルス感染症拡大防
止策として、札幌、東京、大阪の3会場で行います。すでに受験申請をされた方のうち希望会場の提出のない方には、事
務局より個別に確認のご連絡をいたしますのでご対応ください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、3会場のうち1会場でも試験が実施できなくなる場合は、全会場で2021
年度音楽療法士（補）資格試験を延期いたします。

◆2021年度 音楽療法士資格審査（面接試験）について

1. 試験日 2022年3月12日（土）、13日（日） 受験日は当学会で設定
※やむを得ない事情により希望日がある方は、申請時に書面（書式自由）を同封して申し出てください。
※面接試験日時の変更はできません。
2. 試験会場 オンラインによる実施
新型コロナウイルス感染症防止策として、「弾き歌いによる音楽実技試験」は、事前の動画提出による審査といた
します。「口頭試問」はオンライン会議システムを使用し、試験会場に来場することなく、ご自宅等インターネッ
ト環境のある場所から受験していただきます。
3. 試験内容 口頭試問と実技試験審査の合計15分間（口頭試問には、論述等の試問が含まれる）
4. 課題曲 下記A群（メロディックな曲群）、B群（リズムミックな曲群）の各5曲とする。
A群（メロディックな曲群）
① いい日旅立ち 谷村新司 詞・曲
② 遠くへ行きたい 永六輔 詞・中村八大 曲
③ なごり雪 伊勢正三 詞・曲
④ 浜辺の歌 林古溪 詞、成田為三 曲
⑤ 矢切の渡し 石本美由紀 詞、船村徹 曲
B群（リズムミックな曲群）
① カチューシャ 関鑑子 日本語詞、マトヴェーイ・ブランテル 曲
② 負けないで 坂井泉水 詞、織田哲郎 曲
③ 勇気100% 松井五郎 詞、馬飼野康二 曲
④ 夢をかなえてドラえもん 黒須克彦 詞・曲
⑤ ルージュの伝言 荒井由実 詞・曲

5. 実施方法 事前の動画提出による音楽実技試験審査とオンライン会議システムを用いた口頭試問
上記A・B各群から2曲ずつ選択し(計4曲)、資格審査(面接試験)申請時に申請書に明記の上、期日までに弾き歌いの動画を指定された方法で提出してください。申請した曲の中からランダムに選ばれた1曲を、面接当日に面接官が視聴し審査します。
*弾き歌いの前に、自身が想定する対象者、人数、目的等を簡潔に説明し、想定場面に合った弾き歌いをする。
*弾き歌いで楽譜を見ることは可とするが、それはメロディーのみ・コードネーム・歌詞が記載されている楽譜までとし、伴奏全部が記載されている楽譜の使用は不可とする。
*楽譜は紙面のみとし、タブレットの使用は不可とする。
*演奏時間は約3分とする。
- ※「試験の流れ」「動画の作成、提出方法」「口頭試問に必要な環境」の詳細は12月中旬頃に学会ホームページ上に掲載いたしますのでご確認ください。
6. 使用楽器 ピアノ、キーボードまたはギター。
7. 受験資格 ①音楽療法士(補)試験合格者(過年度合格者を含む)
②日本国外の音楽療法士資格保有者
③当学会認定音楽療法士資格失効後、再度同資格の取得を希望する者
8. 受験申請 認定規則「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則(面接試験)」を取り寄せ、申請要領に沿って申請してください。(取り寄せ方法は36ページ参照)
9. 申請期間 書類申請 2022年1月26日(水)～2月9日(水) 最終日事務局必着
動画提出 2022年2月15日(火)午前11時～2022年2月24日(木)午前11時
10. 受験案内 書類審査合格者には3月上旬に試験の案内を通知します。
11. 合格発表 学会ホームページにて合格者の受験番号を発表後、可否に関わらず2022年3月末日までに受験者本人宛に文書通知します。

必修講習会(補)Bの全員 ならびに、

認定校(補)Bのうち口頭試問の資料として「小論文」を選択する方へ

- ・小論文と面接試験を実地開催しますが、実技試験は前項「5.実施方法」のとおり実施します。「事前の動画提出」が必要となり、口頭試問は会場に用意された「オンライン会議システム」を用いて実施します。
- ・小論文実施は3月13日(日)を予定しております。
- ・会場は東京都内1か所のみとなりますのでご注意ください。具体的な試験会場名は受験案内に記します。

北海道支部 — 近況 —

支部長 近藤 里美

【事務局】

〒062-0922

札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

Email: jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com

ホームページ: <http://www.jmta-h.jp>

●第39回北海道支部大会・講習会（オンライン）のご案内

開催日時：2021年11月7日（日） 10：00-16：00

内容：演題発表

講義1 「遠隔音楽療法における『あいだ』：遠隔音楽療法の可能性と今後について」

名郷泉先生（オーストラリア音楽療法協会認定音楽療法士）

講演・ワークショップ2 「いろんなものがちよっぴりずつ：問いと気づきを集めて音楽を揺する」

鈴木祐仁先生（音楽療法士が音楽療法を語る同人誌『micro talk』発行人）

*詳細は、支部ホームページにて随時ご案内致しますのでご覧ください。



東北支部 — 近況 —

事務局長 佐藤 香里

1. 昨年より続く新型コロナウイルスの影響により、会合や研修・講習会が実施できない状況への対応として、今年度、新たに下記2つのことに取り組み始めました。
 - ① 支部会員専用メーリングリストの開設
より多くの情報を会員の皆様に発信していきたいとの目的で支部会員専用メーリングリストを4月に開設しました。支部ホームページも随時更新しながら支部情報、学会本部、他支部情報など、いち早くお伝えしています。
 - ② おはなしCaféの開催
会員同士での交流不足の解消などのために、おはなしCaféと銘打って参加者が気軽に自由に語り合える場としてフリートークのオンライン対話の企画を始めました。6月、8月に2回開催し、11月に3回目を予定しています。リピーターも多く、また、比較的新しい会員さんの参加もあることなどから、今後も方法等模索しながらの継続を検討しています。
2. 東北支部大会は10月17日（日）にオンライン開催を予定しており、現在最終準備を進めているところです。この学会ニュースが発行される頃には終了していることと思いますが、初めてのオンライン開催に向けて多くの方々に助けていただきながら、運営スタッフ一同新たな挑戦に取り組んでいます。
3. 今年度の支部講習会につきましては、現在、日程、内容等を検討中です。詳細が決まりましたら支部ホームページやメーリングリストにてお知らせ致します。

東北支部ホームページ <https://jmtathhp.wixsite.com/jmta-tohoku>

関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

1. 関東支部大会・講習会（埼玉大会）開催について

◎第19回関東支部地方大会（埼玉）のご案内

開催日時：2021年11月27日（土）

会場：埼玉会館（埼玉県さいたま市）

大会長：大澤和子

大会テーマ：多様多彩 ～ひびけ！みんなのハーモニー～

（問合せ先：詳細は関東支部ホームページをご覧ください）

- ・市民講座 多様性を力に障がい児者を支える医療と音楽療法
講演：大橋博文先生（埼玉県立小児医療センター）
対談：大橋博文先生×高山仁先生（たかやま音楽療法研究所）
アトラクション：秩父屋台囃子（「太鼓大好きどこんこくらぶ」のみなさん）
- ・シンポジウム
A：職業としての音楽療法を確立するために
B：高齢者領域で私たちが出来る事、私たちにしか出来ない事
- ・プログラム
口演発表 ポスター発表 自主シンポジウム オンライン交流会

2. 関東支部2021年度研修講習会のお知らせ

今年度の関東支部研修委員会による講習会は、オンライン（Zoom）での開催を中心に考えております。コロナ禍であっても少しでも会員の皆様にとって有意義な時間につながるようなプログラムを提供していきたいと思っております。

2021年度 第2回 日本音楽療法学会関東支部講習会オンライン

日時：2021年12月12日（日）

内容：ワークショップ

講師：平野夏子氏・大島美知恵氏

2021年度 第3回 日本音楽療法学会関東支部講習会

日時：2022年3月27日（日）

内容：講演

講師：山本久美子氏

3. 2021年度関東支部総会のお知らせ 今年度はオンライン開催です

2021年度関東支部総会はコロナ禍の影響を考慮し、Zoomによるオンライン総会を実施します。

- ・日時 2021年11月21日（日） 午前11時30分～12時30分
- ・Zoomによるオンライン総会

すでに2021年6月に支部会員全員に郵送にてご案内を差し上げましたが、詳細な案内については関東支部ホームページ、関東支部メールマガジンでご案内いたします。また当日のZoomのURLおよび総会資料については、メールマガジンでダウンロードの案内を11月中旬にお知らせいたします。必ずメールマガジンの登録をしていただきますようお願いいたします。

登録方法、不明な点がございましたら、関東支部事務局までお気軽にお問い合わせください。

関東支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>

信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 丸山 敬子

第18回信越・北陸支部学術大会は、オンデマンドによるウェブ学会として、2021年6月19日（土）～7月19日（月）に行われ、無事に終了いたしました。大会長は今年度の全国学術大会で講習会講師をお願いした近藤清彦氏で、テーマは「命を支える音楽療法」でした。また、講師をお願いした、中山ヒサ子氏（NPO 法人 和・ハーモニー音楽療法研究会理事長）、松井紀和氏（日本臨床心理研究所所長）、久保田牧子氏（長谷川病院 活動療法科 日本音楽療法学会認定音楽療法士）の講演は支部だけではなく、広く皆様に聴講いただきたい内容でありました。ウェブで行ったことで、支部外まで門戸を広げられたことは収穫だったと思います。信越・北陸支部では学会員数は少ないですが、その反面、顔の見える支部学術大会は支部の強みでもありました。ウェブ配信のため学会員同士の交流ができなかったことは残念です。しかし、内容は豊かで大いに学ぶことのできる学会となりましたことを報告いたします。次年度の支部学術大会は富山県で開催の予定です。

団体登録されている研究会等は現在10団体で活発な研究・研修活動が行われております。それぞれの団体がコロナ禍の中、感染予防の工夫をしながらウェブを活用して取り組んでいます。

最後に、当支部は今年度、第21回全国学術大会の運営を拝命し取り組みました。今回、学術大会及び講習会のすべてをウェブ配信することは初めての試みでした。ウェブ配信することで様々な課題に直面しましたが、今後の試金石となれば幸いです。皆様のご協力に感謝いたします。



東海支部 — 近況 —

事務局長 伊藤 孝子

東海支部では現在、来年度から第11期東海支部役員会の発足に向けて、役員選挙を行っております。また、隔年発刊の紀要を作成中であり、本年度末までに完成することを予定しております。年度末には、第21回東海支部大会（同時に支部研修会）が名古屋音楽大学で開催されることとなっており、現在大会長（猪狩裕史氏）を中心に、実行委員会を構成し準備にとりかかっているとところです。これらの活動を進めるための役員会議につきましては、前年度と同様、毎回オンラインミーティングの形式で行っております。資料の共有のしやすさや移動時間の削減等、いい面もあることにも気づかされておりますが、一方で議決の際のコミュニケーションにおいては、やはり対面で行う機会も必要であることを痛感しております。

また、2023年度の全国学術大会につきましては、東海支部が担当することが決定いたしましたので、実行委員会（大会長 菅田文子氏 実行委員長 伊藤孝子）を立ち上げたところです。様々な面につきまして模索状態ですので、本部理事会、事務局、他支部の皆様のお智恵を拝借しながら、有意義な大会となるよう力を注いでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



近畿支部 — 近況 —

事務局長 佃 誉子

近畿支部では2022年3月5日（土）～21日（月）にオンラインで第20回近畿学術大会を開催いたします。開催に向けて、実行委員会を中心に近畿支部総力を挙げて準備を進めています。

【大会テーマ】「音楽療法の不易流行」

開催期間：2022年3月5日（日）～3月21日（月）

参加申込期間：2021年10月1日（金）～2022年3月10日（木）

〈学術大会〉……（主にオンデマンド配信、問い合わせフォームによる質疑応答）

- ・自由研究発表、課題研究発表 ・ラウンドテーブル（リアルタイム開催）
- ・大会実行委員企画 ・音楽療法士認定校企画：同志社女子大学、武庫川女子大学

〈講習会〉……（主にオンデマンド配信、問い合わせフォームによる質疑応答）

- ・「言語と音楽：脳内メカニズムと臨床応用」 佐藤 正之先生
- ・「こころを病む高齢者への接し方」 吉田 勝明先生
- ・「発達障害と感覚過敏」 崎濱 盛三先生
- ・「対象者の「持てる力」を引き出す伴奏法 ～歌唱・合奏において～」 平田 紀子先生
- ・「小物打楽器・身近なモノで楽しいリズムを体感しよう！」（ワークショップ 定員100名） 山本 晶子先生

◎オンライン開催ですので他支部の方も是非ご参加ください。

詳細は第20回近畿学術大会ホームページをご覧ください。 <https://20kinkitaikai.webnode.jp/>

2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の概要、ラウンドテーブルの報告記事、近畿支部活動記録を掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問合せください。

中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

中国支部は、7月11日に第20回中国支部大会をオンラインにて開催しました。

昨年度は、中国支部大会ならびに支部主催講習会の開催を山口市にて予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、延期としました。

今年度は現地での開催を検討しましたが、終息の兆しが見えないため、やむを得ずオンラインでの開催となりました。

オンラインでの開催にあたって、主催する側も参加する側も初めての経験で、全員がうまくつながるのかと心配しましたが、多くの方のご助力で開催することができました。

関係者の皆様、ありがとうございました。

内容は講演2題と研究発表3題、そして総会となりました。

結果、これまで支部大会にはなかなか参加できなかった会員の方も「オンラインなら気軽に参加できた。」「遠隔地で出かけるに思ったがこれなら私も参加できる。」などの感想もあり、オンラインならではの良い点も見出すことができました。

そして、中国支部は来年度開催予定の第22回全国学会大会の開催準備をお引き受けしました。期日は2022年9月16日～18日で、広島国際会議場において開催予定です。来年には感染症も収束して対面でできるものと信じ、準備を進めております。

今後、いろいろな情報を発信いたします。来年は広島にて皆様にお目にかかれましてこと楽しみにしております。

どうぞよろしく願いいたします。



四国支部 — 近況 —

事務局長 栗田 京子

四国支部では、8月1日に四国支部では初めてのLSC講習会を開催いたしました。二俣泉先生に「スーパーバイズのオキテ」と題してスーパーバイズの在り方やバイザー、バイザーの心得などについてご講義をいただき、その後、ピアスーパービジョンの時間を設けました。四国支部の会員限定ではありましたが、アットホームな雰囲気の中、参加者の皆様から、好評をいただき、LSC実行委員会も次回への糧として会員相互の連携を深めたいと意気込んでおります。次回のLSC講習会は2022年2月26日に開催予定です。

2021年度の四国支部学会大会のご報告をさせていただきます。2021年11月14日に愛媛県担当で、第16回四国支部学会大会を開催いたしました。支部大会2回目のオンラインでの開催となり、理事長をはじめ全国の各支部からご参加をいただき、誠にありがとうございました。

次年度の四国支部学会大会は、まだ、日程が決まっておきませんが、高知県が担当です。決まり次第支部ホームページにてお知らせいたしますので、ご覧ください。

四国支部 ホームページ

<http://www.imta-shikoku.sakura.ne.jp/>



九州・沖縄支部 — 近況 —

事務局 池田 憲治

日本音楽療法学会九州・沖縄支部は、2021年度は、8月22日（日曜日）オンラインにて、石本淳也先生（熊本県介護福祉士会会長 前日本介護福祉士会会長（現相談役））をお招きして、『第8期介護保険制度報酬改定からこれからの20年を考える』を演題として講習会を行いました。オンラインでの参加に慣れていない会員さんへの参加方法のプレゼンテーションの機会にもさせて頂きました。

今後の予定としましては、日本音楽療法学会九州・沖縄支部ホームページの開設を11月末に予定しております。また、支部大会を2022年3月20日（日）に熊本城ホールにて開催し、同時にアーカイブライブでの参加が出来る様に計画しています。

学会事務局からのお知らせ

■ 2021年度資格審査を申請される方へ

2021年度資格審査（面接試験）の申請期間や申請方法等につきましては、16ページをご確認ください。

■ 2021年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2021年10月29日（金）までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2022年2月初旬までに通知されます。

■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2020年度分未納の方は、このまま滞納が解消されない場合、2022年3月末にて会費未納退会となります。未納会費がある状態で退会されますと、再入会するには通常の入会費用の他、未納会費の納入が必要となります。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円

購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口

払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会 口座番号：00120-9-657711

■ 「団体総合保障保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりご案内します。保険については加入を希望される方は冊子裏面の「保険申込FAX連絡票」を切り離し、必要事項を記入してFAX送信してください。加入依頼書が届きますので必要事項をご記入の上署名捺印をして送付してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ない場合廃止となりますので奮って加入いただきますようお願いいたします。なお、この保険についてのお問い合わせはTEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

■ 入会案内パンフレット取寄せについて

会員の方は、学会の入会案内パンフレットを20部まで無料でご請求いただけます。学会ホームページ上のお問い合わせ欄、もしくはFAX・郵送にて必要部数を明記の上ご請求ください。送料や返信用封筒の送付は不要です。なお、学会ホームページ上、「各種刊行物」ページ内にデータが掲載されておりますので、ご自身でダウンロードし、印刷することも可能です。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択し、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 学会ホームページ「お問い合わせ」について

学会ホームページよりお問い合わせの受付を開始いたしました。学会ホームページや学会ニュースなどの広報媒体や認定規則書等の発行物で確認ができない事項についてご質問がある場合は、学会ホームページメニュー「お問い合わせ」より必要事項を入力して送信してください。回答はご記入いただきましたメールアドレスにメールで送信されます。尚、ご回答までにはお時間を要する場合がございますので、あらかじめご容赦ください。

■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対象者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



■ 「スーパービジョンの手引」のご購入について

スーパービジョン検討特別委員会編纂の「スーパービジョンの手引」が発行されています。（A 4 版60ページ、2015年 8 月発行）購入を希望される方は36ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B 5 版76ページ、2006年 8 月23日発行）購入を希望される方は36ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「音楽療法臨床ハンドブック」のご購入について

学術研究委員会編纂による「音楽療法臨床ハンドブック」が発行されています。（A 4 版114ページ、2019年 4 月発行）購入を希望される方は36ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

一般の方に視聴していただくのに最適な15分間の音楽療法の啓発 DVD が発売されています。購入を希望される方は36ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバーの購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料の取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、会員番号、氏名、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書必修講習会コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、送付する為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定規則書	必修講習会コース	500円
	面接試験	500円
	資格更新	500円
認定音楽療法士（補） 問題解説集	2001～20年度単年度版 ※希望年度を明記してください ※2001～10年度単年度版は在庫がなくなり次第取扱い終了となります。	各1,000円
	2006～10年度、2011～15年度、 2016～2020年度 五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください ※2001～05年度五ヶ年分合冊版は廃版となりました。	各2,000円
その他	抄録の書き方	1,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円
	倫理ハンドブック	500円
	特別プロジェクト研究報告	500円
	音楽療法臨床ハンドブック	2,000円
DVD	音楽の力2012 ～音楽療法が拓く可能性～	1,000円
学会誌、学術大会要旨集、学術大会 講習会資料集（2018年度～）	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌 バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）、2018年度以降の 学術大会講習会資料集のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりませんの で下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、必修講習会を受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更がある方、名義を変更される方は、学会ホームページから、もしくは事務局宛てに文書にて変更を届け出てください。書面で提出する場合の書式は自由です。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

- 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）など

手数料：500円

- 音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含みます。

※3×4cmの顔写真、現在お持ちの登録証明書と賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・賞状ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、掲載を希望される際は、現在掲載されているページを参考に Word にて求人情報掲載内容を作成し、kanri@jmta.jp へお送りください。内容確認後、掲載可否についてお知らせいたします。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 日本音楽療法学会誌第21巻1号 訂正

学会誌第21巻1号に下記の誤りがございましたため、お詫びして訂正いたします。

・46ページ脚注番号

誤：2) 筑波大学大学院人間総合科学研究科

正：3) 筑波大学大学院人間総合科学研究科

定款はニュース41号 P35～をご覧ください。